

データ単位のセキュリティ設定

Qlik Sense では、アプリの内部でデータレベルのセキュリティ制御を行うことができます。この機能により、同じアプリ内でもユーザー毎に閲覧できるデータを制限することができます。(Section Access と呼ばれています。)

SaaS でもこの機能が実装されましたので、試してみました。

■ 前提条件

- Qlik Sense SaaS をご利用の方

■ メーカーヘルプサイト

https://help.qlik.com/ja-JP/cloud-services/Subsystems/Hub/Content/Sense_Hub/Scripting/Security/manage-security-with-section-access.htm

■ 一般的な制御例

支店単位でのデータ制御

- ⇒大阪支店所属ユーザーは、大阪支店のデータしか見られない(※1)
- ⇒本社所属ユーザーは、全社のデータを閲覧可能(※2) など

※1



※2



セキュリティ制御用にテーブルを作成します。

Inline でデータロードエディタに記載、もしくは、Excel で準備しリロードして頂いても構いません。

セキュリティ制御用テーブルには、以下のような項目を使用します。

項目	説明
ACCESS	「ADMIN」または「USER」 が利用可能。 ADMIN : アプリのすべてのデータにアクセス可能。 USER : セキュリティテーブルで指定されたデータにのみ、アクセス可
USER.EMAIL	Qlik Sense SaaS にログインする際に利用するメールアドレス
分析データの項目	指定したレコード (行) のみを表示
OMIT	指定した項目 (列) のみを非表示

セキュリティ制御用データは、

分析用データと区別するために、ロードスクリプトに「SECTION ACCESS;」を宣言し、分析用データは、ロードスクリプト内に「SECTION APPLICATION;」を宣言します。

<pre>Section Access; LOAD * inline [ACCESS,USER.EMAIL,支社,OMIT ADMIN,user1@xxx.co.jp,, USER,user2@xxx.co.jp,大阪支社,仕入金額];</pre>	セキュリティ制御用データ
<pre>Section Application; 売上実績: LOAD * inline [支社, 経費, 仕入金額 東京支社, 100, 10000 大阪支社, 200, 20000 九州支社, 300, 30000];</pre>	分析用データ

➤ データ（行）の非表示を行う場合

1. Excel で以下のようなデータを作成します。

ACCESS	USER.EMAIL	支社
ADMIN	user1@xxx.co.jp	*
USER	user2@ xxx.co.jp	東京
USER	user3@ xxx.co.jp	大阪

<設定内容>

USER1 は、すべてのデータを参照できます。

USER2 は、すべての項目と 支社=東京であるレコードを参照できます。

USER3 は、すべての項目と 支社=大阪であるレコードを参照できます。

※ワイルドカード (*) の利用は、テーブル内の項目に含まれるすべての値として解釈されます。

2. ロードスクリプトで Excel ファイルを取り込みます。

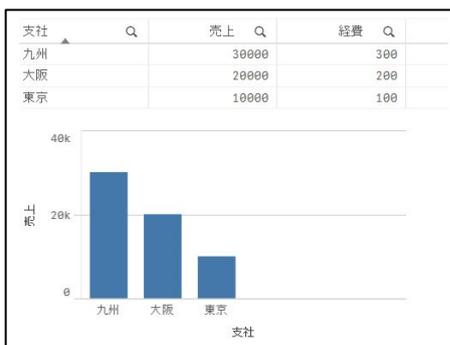
```

Section Access;
Authorization:
LOAD
    ACCESS,
    USER.EMAIL,
    支社
FROM [lib:// x x x :DataFiles/SectionAccess.xlsx]
(ooxml, embedded labels, table is AUTHORIZATION);

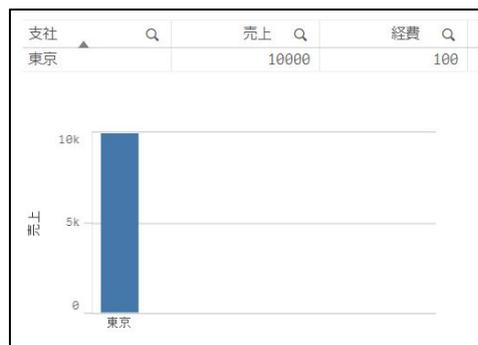
Section Application;
取り込み対象のデータを記載
    
```

3. 以下のような結果になります。

▼user1



▼user2



➤ データ（列）の非表示を行う場合

1. Excel で以下のようなデータを作成します。

ACCESS	USER.EMAIL	OMIT
ADMIN	user1@xxx.co.jp	
USER	user2@ xxx.co.jp	仕入金額
USER	user3@ xxx.co.jp	売上金額

<設定内容>

USER1 は、すべてのデータを参照できます。

USER2 は、項目[仕入金額]以外のすべての項目を参照できます。

USER3 は、項目[売上金額]以外のすべての項目を参照できます。

➤ ロードスクリプトで Excel ファイルを取り込みます。

```
Section Access;  
Authorization:  
LOAD  
    ACCESS,  
    USER.EMAIL,  
    OMIT  
FROM [lib:// x x x :DataFiles/SectionAccess.xlsx]  
(ooxml, embedded labels, table is AUTHORIZATION);  
  
Section Application;  
取り込み対象のデータを記載
```

➤ 以下のような結果になります。

▼user1



▼user2



➤ 注意事項

- [Section Access]内に記載する項目「ACCESS」「USER.EMAIL」「OMIT」は、すべて大文字で記述する必要があります。
- [Section Access]内に記載する項目はデータモデルには表示されません。
- 本機能を利用する前に、共有スペースあるいは、公開スペースにアプリを公開してください。
- 値が色構成により公開される可能性があるため、マスター軸の値に色を割り当てないでください。

以上